

設立趣意書

サル類の研究は、人類探究の一手段として重要な意義をもっている。幸い、わが国には多数のニホンザルが群棲しており、それを対象とした生態学、社会学等の研究が、過去5か年間にわたり文部省科学研究費等の援助によってなされ、関係専門分野の学者により、すでに多くの業績があげられてきた。わが国に産する野生ニホンザルを対象として、芽生え醸成されてきたこの特色ある学問の伝統を守り、さらにより広範にして総合的なサル類一般に関する比較研究を行うことは、わが国の学術の振興に貢献するところきわめて大なることを信じて疑わない。

ここに財団法人日本モンキーセンターを設立し、上記の研究を進めるとともに、その研究の成果をもって野生ニホンザルの保護繁殖およびその技術的指導をし、今日急激に需要を増してきた実験用サルの研究者への供給を行い、あわせて人類起源の探究に着眼した「サル類動物園」を設置経営し、学術教育および文化の発展に寄与せんとするものである。